

朝日新聞デジタル > 連載 > 追う DNA捜査 > 記事

独自

第1回

容疑者の多くからDNA採取 DBに130万件と判明

会員記事

2020年8月23日 5時00分

シェア ツイート ブックマーク メール 印刷

list 378

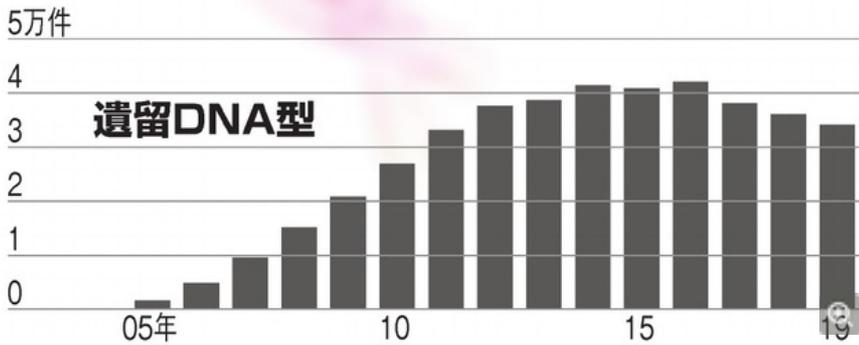
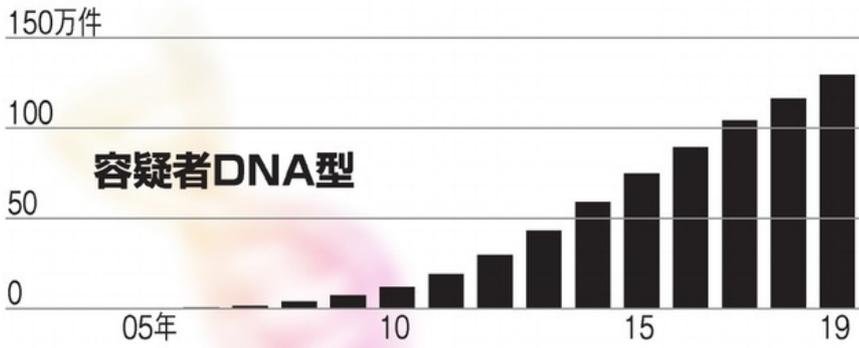
犯罪にかかわった疑いがあるとして警察が逮捕など検挙した容疑者から得たDNA型のデータベースの登録件数が、年間十数万件のペースで増え続け、2019年末時点で約130万件にのぼることがわかった。日本の人口のほぼ100人に1人にあたる数だ。検挙した容疑者の多くからDNAを得ている計算で、対象の罪種は重要犯罪に限らず軽微なものも含まれている。

朝日新聞による [警察庁](#) への情報公開請求や関係者への取材で明らかになった。

警察は逮捕や取り調べをした容疑者から主に本人の同意を得てDNAを採取し、現場に犯人が残したとみられる遺留物からも採っている。それらを鑑定し、判明したDNA型を警察庁のデータベースに登録。それぞれのデータベースへの照会で年間5千~6千件が一致し、容疑者の割り出しや余罪の解明につながっている。

データベースの登録件数は19年12月末現在、容疑者DNA型が129万6765件、遺留DNA型が3万4374件。遺留DNA型が16年の約4万2千件をピークに減少傾向にあるのに対し、容疑者DNA型は一貫して増え続けている。

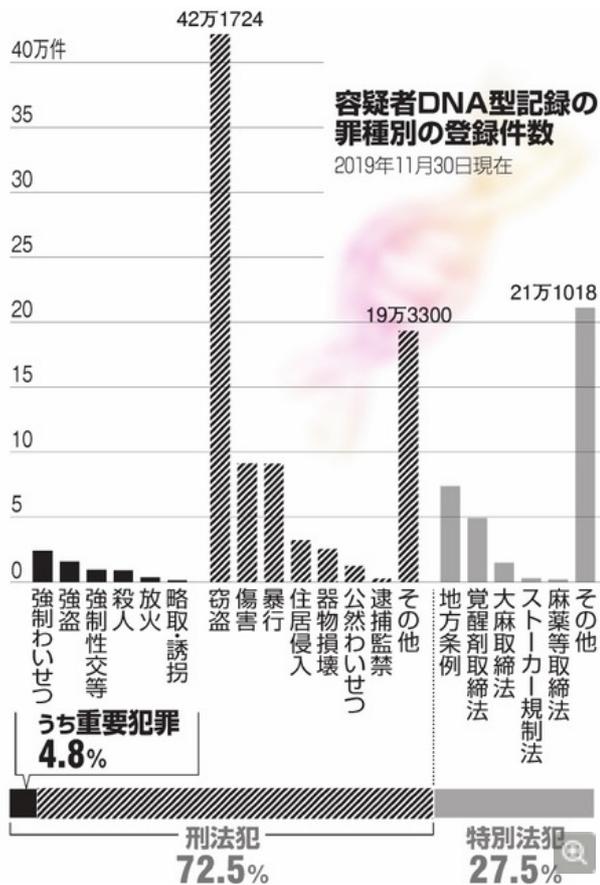
DNA型データベースの登録件数



DNA型データベースの登録件数

19年11月末現在の開示資料によると、容疑者DNA型の罪種別内訳では、「殺人」「強盗」「強制性交等」などの重要犯罪は全体の4・8%。一方で、「窃盗」が約42万件、特別法犯の「その他」が約21万件、刑法犯の「その他」が約19万件にのぼり、双方の「その他」を合わせると全体の3分の1近くを占める。

「その他」の具体的罪種について 警察庁 や捜査関係者に取材したところ、刑法犯 では詐欺、占有離脱物横領、脅迫、遺失物横領など、特別法犯では道路交通法違反、銃刀法違反、出入国管理法 違反や軽犯罪法違反、風俗営業法 違反などが含まれるという。



容疑者DNA型記録の罪種別の登録件数

警察による検挙人員は 刑法犯 と特別法犯を合わせて年間約25万人。容疑者DNA型の新たな登録件数は年間15万件前後で推移しており、検挙した容疑者の多くからDNAを採取していることになる。警察庁は「軽い犯罪から重大な犯罪につながるケースがある。むやみに採取しているわけではなく、余罪捜査の必要性などを判断しながら行っており、(数は) 個別に判断した結果だ」と説明する。

容疑者DNA型について欧米では法律を定めて罪種を絞るなどしている国が多いが、日本では 国家公安委員会 規則や 警察庁 の通達などで運用され、罪種の限定はない。

データベースの運用は04年12月に遺留DNA型で、05年9月に容疑者DNA型で始まった。当時、警察庁ではDNA型鑑定について法制化も検討されたが、現行法の枠内でデータベースの拡充を進めていくことにした経緯がある。

また、データベースからの抹消は、警察庁の規定で「死亡した時」と「保管する必要がなくなった時」に行くとされている。実際に抹消するかどうかは個別に判断しているといい、容疑者が 不起訴処分 や無罪判決を受けても抹消されるわけではない。

一方、警察は殺人事件などで現場周辺の住民ら「捜査協力者」からもDNAを採取することがある。遺留物との照合などが目的で、警察庁は容疑者でないと分かれば協力者のDNA型をデータベースに登録することはないと説明。容疑者や捜査協力者から採取し、鑑定で余りが出た資料は廃棄しているという。

DNA型鑑定とは

【動画】警察におけるDNA型鑑定の流れ=米澤草憲・小林省太制作

人の細胞の核のなかにあるDNA（デオキシリボ核酸）は4種類の塩基と呼ばれる物質が含まれ、同じ並び方が繰り返される回数を「型」として個人識別ができる。その精度は最新の検査法で565京（けい）人に1人。DNAのうち身体的特徴や病気などにかかわる遺伝子が含まれるのは全体の約2%とされ、警察はそれ以外の部分を鑑定に使うとしている。

現場近くの住民からもDNA 「拒否して疑われるの嫌」 →

■ <視点> 根本的な議論のな…

この記事は  **会員記事** です。無料会員になると月5本までお読みいただけます。

残り：467文字/全文：1991文字

[無料登録して全文を読む](#) >>

[ログインして全文を読む](#) >>

2種類  の会員記事が **月300本まで読める** お得なシンプルコースは [こちら](#)

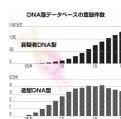
連載

追う DNA捜査（全4回）

第1回（今読んでいる記事）

容疑者の多くからDNA採取 DB
に130万件と判明

2020年08月23日05時00分 



第2回

現場近くの住民からもDNA 「拒
否して疑われるの嫌」

2020年08月23日05時00分 



第3回

犬探して貼り紙…それだけでDNA
「一生、容疑者扱い」

2020年08月24日05時00分 



第4回

片っ端からDNA 協力しないと知
らぬ間に親類の所へ

2020年08月25日05時00分 



[ページトップへ戻る](#)

朝日新聞デジタルの関連サイト

有料会員（フルプラン）は追加料金なしでご利用可能。詳しく>>



朝日新聞社から

[会社案内](#)
[CSR報告書](#)
[採用情報](#)
[記事や写真利用案内](#)
[新聞広告ガイド](#)

デジタル事業から

[デジタルサービス一覧](#)
[携帯サービス](#)
[Astand\(コンテンツ販売\)](#)
[法人向け配信](#)
[写真の購入案内](#)
[記事データベース案内](#)
[朝日ID](#)

グループ企業

[朝日新聞出版の本](#)
[朝日新聞出版\(AERA dot.\)](#)
[朝日インタラクティブ](#)
[朝日学生新聞社](#)

各国語サイト (News in various languages)

[The Asahi Shimbun Asia&Japan Watch \(ENGLISH\)](#)
[Asahi Weekly \(ENGLISH/JAPANESE\)](#)
[朝日新聞中文網 \(繁體字\)](#)
[朝日新聞中文網 \(简体字\)](#)
[ハフポスト日本版 \(JAPANESE\)](#)
[CNN.co.jp \(JAPANESE\)](#)

[サイトポリシー](#) | [サイトマップ](#) | [利用規約](#) | [web広告ガイド](#) | [リンク](#) | [個人情報](#) | [著作権](#) | [お問い合わせ・ヘルプ](#)

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。
Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.